

ユニフォーム ガイドライン UWWイベント2017

Uniform Guidelines

UWW Events 2017











目 次

l.	導入	3
	レスリングシングレット	
2	.1 一般的な考慮事項	3
	シングレットは、各レスリング選手に、それらの支配力とテクニックを実行するためにすべての可能性を提供	
	することとします。	
	2.2 具体的な考慮	3
	2.2.1 男子レスリングシングレット(グレコローマン&フリースタイル)	3
	2.2.2 女子レスリング	3
	2.3 色	4
	2.3.1 基本色	4
	2.4マーク	4
	2.4.1 赤と青のマーキング	4
	2.4.2 氏名(姓)とNOC(国内オリンピック委員会)エンブレムとナショナルアイデンティティー	
	2.4.3 サード・パーティー識別	8
	2.4.4 UWW認証極印-承認マーク	8
	2.4.5 スポンサー配置	9
	2.5 グラフィックス	.12
3.	イアープロテクター	.13
1.	シューズ	.13
5.	提出プロヤス	.13









1. 導入

2017年1月1日以降ユナイテッド世界レスリング連盟(UWW)によって開催されるイベントに参加する全ての年齢カテゴリの選手は、UWWユニフォームガイドラインに従わなければなりません。このガイドラインは、レスリングに関するルールおよび規則に準拠した革新的なデザイン機能を可能にすることを目的としています。

法令遵守の責任

すべてのUWWイベントでは、全国連盟が責任を負う。 オリンピックでは、オリンピック委員会は、代表団のメンバーが着用または使用する品目が本ガイドラインの条件に従うことを保証する責任がある。

2. レスリングシングレット

2.1 一般的な考慮事項

シングレットはすべてのオリンピックスタイルに使用される標準的なユニフォームです。 レスリング・シングレットは、ユーザーや相手に対して刺激の危険性がない荒い縁を持たない滑らかな布で作られていなければならない。

シングレットは、各レスラーにすべての可能性を提供し、彼らの保有および技術を実行する。

2.2 具体的な考慮

2.2.1 男子シングレット(グレコローマンスタイル&フリースタイル)

シングレットは以下の特徴を持たなければなりません:*

- ・正面のネックラインは12センチメートル以下でなければならない
- ・背中のネックラインは10センチメートル以下でなければならない
- ・腕の下のカットは30センチメートルを超えてはならない
- ・シングレットの脚の長さは、膝の上で停止しなければならず、膝の上15センチメートルより短くしてはならない

2.2.2 女子シングレット

シングレットは以下の特徴を持っていなければなりません:*

- ・正面のネックラインは15センチメートル以下でなければならない
- ・背中のネックラインは10センチメートル以下でなければならない
- ・腕の下のカットは、21.5センチメートルを超えてはならない
- ・シングレットの脚の長さは、膝の上で停止しなければならず、膝の上15センチメートルより短くしてはならない

重要:女性のシングレットは、男性のシングレットの代わりに交代してはならず、その逆もありません。









*注:上記の測定値は男性と女性のシングレットサイズを表します。 シングレットの測定値は、男性と女性の異なる体重クラスに対して補正することができます。 私たちの主な目的は、下着を与えられたガイドラインで離散的にカバーし、男性のシングレットを使用して女性を抑えることです。 アスリートの動きの範囲を制限することは意図していません。

2.3 色

同じ色を身につけることから国を避けるために、2つの均一なオプションが必要とされています。

2.3.1 色ベース

すべての国は、各国の色に基づいて制服を選択する。デザインは、国旗にある色によって決まります。 代替案は、Unite d World Wrestlingの承認を得て、例外的なケースで検討することができる。 選択された国の色がシングレットの70%を占める。

青色のマークが付いたユニフォームと赤色のマークが付いたユニフォームは、承認のためにUnited World Wrestlingに提出する必要があります。 これらの制服のそれぞれは、赤または青のマーキング(下記参照)を組み込んだシングレットのそれぞれに使用する必要のある色を制限しています。

国の色に加えて、赤と青のマークは、スポーツ選手間の得点を決定するためにシングレットに配置されます。

同様の色の組み合わせを避けるために、各国は青色のマーキングで次の色を使用する必要があります。

・ブラック、ブルー、グリーン、グレー、パープル、シルバー

同様の色の組み合わせを避けるために、各国は赤色のマーキングで次の色を使用する必要がありま。す

・ホワイト、オレンジ、ピンク、レッド、イエロー、ブラウン、ゴールド

2.4 マーキング

2.4.1 赤と青のマーキング

各シングレットには合計3つのマーキングがあります:

- ●2本の7cmバンド(各脚に1本ずつ)は、脚の下端を横切って配置しなければならない。 明確に区別するために、刻印は脚の周囲を覆うものとする。
- ●アスリート名の下に1つの7cmバンドがあり、上半身の裏にNOCコードがあります。 このバンドは、前半には見えないシングレットの後半部分にのみ配置する必要があります。

重要:赤く、 青色のマークは、 どのようなグラフィック、 ロゴ、 またはサード・パーティー 識別からでも手つかずであり続けなければならない絶え間ないスポーツ固有のデザインコンポーネントです。 マークは、 スポーツ選手の名前と国コードの下で置かれる必要があります。

赤色マークは、以下の通りになることとします:パントーン**2347C**

青色マークは、以下の通りになることとします:パントーン299









どうぞ、ビジュアルな明確化については下で説明を見てください:

UWW Singlets / Men / White + Red stripes



UWW Singlets / Men / Anthracite + Blue stripes













UWW Singlets / Women / Red stripes











2.4.2 姓(家族の名前)とNOCのエンブレムとナショナルアイデンティティ 姓と国コードの両方の表現は、次の基準を満たさなければなりません:

- ●フォントタイプは、姓の「Arial Narrow」、国コードの「Arial」でなければなりません
- ●姓と国コードの文字は、名前が8文字以上でない限り、大文字でなければなりません。その場合、最初の大文字の後に小文字を使用します。 ' やスペースなどの記号は文字と見なされます。
- ●高さ:姓と国コードは、文字数に関係なく5cmの高さとする

どうぞ、ビジュアルな明確化については説明を見てください。

MITH





Järveläinen

競技者の名前は、ラテン文字、NOCコードの上半分または半円形に表示する必要があります。 旗やNOCロゴは胸の左側になければなりません。 NOCコードは、選手の姓の下の一揃いの後部に表示されなければなり ません。背面のNOCコードのサイズは、10cm×10cmを超えてはならない。

2.4.3 サード・パーティー識別

製造者の身元確認は、胸の前部右側で許可されなければならず、後部の腰の下で30平方㎝の最大サイズまで許容され なければならない。

1つの製品技術の識別も、ウエストの上下に許可されなければならない。このような識別はすべて、最大サイズ10平方cmに準拠していなければならず、お互いにすぐ隣に配置してはならない。

2.4.4 UWW認証極印(UWWホールマーク) - 承認マーク(ホモロゲーションマーク) 正式なUWWホールマークは、下の右脚の裏側、または一重項の裏側のネックラインの下に最大30平方cmのサイズで現れます。白色の版は暗い色の制服に、黒色の版は薄い色の制服に適用する。以下の図は、UWWロゴの正しいレイアウトを示しています。













2.4.5 スポンサー配置 スポンサースペース配置はすべてのUWイベントのために許されるでしょう(オリンピックゲームを除く)そして、下にガイドラインに従うこととします。最大3回のスポンサー配置がシングレットの上で使われることができます。

スポンサーはスペース**A**、**B**、および**D**でまたはスペース**C**で置かれることとし、**E.**、スポンサー配置は1人のスポンサーまたは何人かのスポンサーのために使われることができます。

どうぞ、ビジュアルな明確化については下で説明を見てください:

スポンサースペースA:正面を後援してください;右脚

スポンサースペースB:正面;左脚

スポンサースペースC:正面を後援してください;国フラグとメーカーロゴ

スポンサースペースD:後部側面;上背

スポンサースペース E:後部;左脚













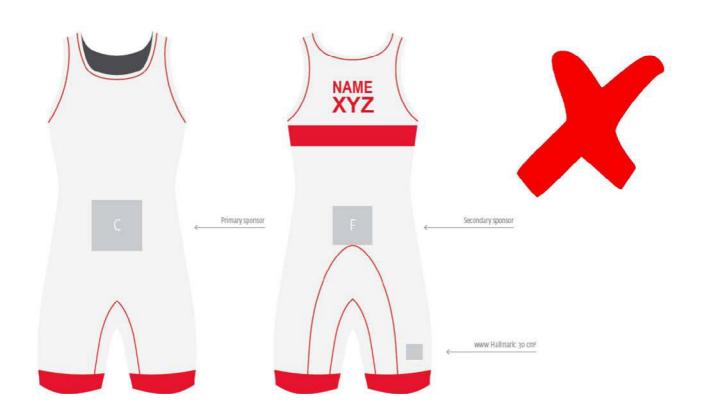




















2.5 グラフィックス グラフィックスまたは伝統的なデザインはシングレットのデザインに組み入れられるかもしれません。 しかし、彼らはこれ らのパラメータの中に滞在しなければなりません:

- ・どのグラフィックもカラーベースの70%に影響してはならない。
- ・グラフィックスは、カラーベースを維持するために透かしを入れるものとする。
- ・対比色の小さなアクセントはUnited World Wrestlingの最終承認を得て許可されることがあります。







3. 耳プロテクター

耳保護具は、硬いバックルなしで、柔軟で弾力性のある素材で作られていなければなりません。イヤーフラップは弾性を持ち、対戦相手に危険がない衝撃吸収材で覆われていなければならない。 衣類1個につき1個の製造者の身分証明書が、最大10cm2のサイズで許可されます。

4. シューズ

レスリングシューズは、いくつかのファブリックまたはレザーで作ることができます。縫い目は、縁から縁まででなければならず、相手を傷つける可能性のある粗さを示さないようにしなければならない。 靴の靴ひもには硬いアイレット穴がないものとし、靴ひもの先端はレスラーまたはその相手に危険なものでなければならない。 競争中に靴ひもが縛られないようにするには、絆創膏および/または弾性布が靴ひもを覆わなければならない。 ソールは柔軟性のある材料で作られていて、粗さや金属の不存在を示さないようにしなければなりません。 すべての履物品は、ゲームの6ヶ月以上前に小売業を通じて販売された製品に一般的に使用される製造者の身分証明書を保持することがあります。

5. 提出プロセス

次のシーズン2017前: シングレットのデザインは、2016年12月31日までに以下の住所にUWWに提出する: uniform@unitedworldwrestling.org

競技中

計量中にUWWによって統一チェックが管理される。

レスリング選手の出演が規制に準拠していない場合、各国連盟に最初は2000スイスフランの罰金が課せられます(2回目は4000スイスフラン、その後は6000スイスフラン)。

